

木次線観光列車運行検討会の報告について

令和3年6月3日にJR西日本米子支社から、「令和5年度を最後に、老朽化したトロッコ列車の運行を終了する」との発表がなされました。

このことを受け、トロッコ列車の運行継続を含めた木次線沿線地域の観光振興の方策について、木次線観光列車運行検討会（事務局：島根県）を設置し、これまで検討を行ってきました。

先般、令和4年2月9日に開催された第5回木次線観光列車運行検討会において、下記のとおり、JR西日本米子支社からのトロッコ列車に代わる提案を関係自治体（島根県、雲南市、奥出雲町、松江市、出雲市、広島県、庄原市）が受け入れました。

つきましては、提案を受け入れたことにより、次年度、木次線利活用推進協議会（事務局：雲南市）において、関係自治体とJR西日本で具体的な内容を検討されることとなりましたので、報告します。

記

1. JR西日本からの提案内容

(1) 木次線への新たなトロッコ列車の導入について

経営的、技術的観点から、財政支援の有無に関わらず行わない。

(2) 木次線沿線地域の観光振興策について

①観光に特化した列車を活用した観光施策

令和6年に予定する「観光列車『あめつち』のブラッシュアップ」のメニューとして、「あめつち」の木次線への乗り入れ

（運行区間：宍道～出雲横田）

②定期列車を活用した観光施策

地域の魅力発信と定期列車の利用促進を目的とした、「定期列車（120系車両）の内外装の装飾」

③その他

木次線沿線の周遊性を高めるための観光振興策の検討

2. 本市の対応について

出雲の國・斐伊川サミットを通して、広域観光事業を実施するなかで、トロッコ列車は、大きな役割を担っています。今後、木次線利活用推進協議会で検討される内容を踏まえ、どのような関わり方ができるのかを出雲の國・斐伊川サミット構成市町と協議していきます。

運行終了の令和5年度までは、引き続き、トロッコ列車の運行支援を行っていきたいと考えています。

(参考)

検討会の開催状況

第1回検討会	令和3年	8月	4日
第2回検討会	令和3年	8月24日	
第3回検討会	令和3年	10月13日	
第4回検討会	令和3年	12月23日	
第5回検討会	令和4年	2月	9日